

牛津中学校落成式

2月25日(金)、牛津中学校で新校舎の落成記念式典が行われました。佐城教育事務所長をはじめ多くの来賓の方々、学校関係者、生徒など約500人で、新しく生まれ変わった校舎の完成を祝いました。

また、昭和36年に牛津中学校と砥川中学校が統合され、今年で50年目を迎えるということで、中学校とPTAの合同による50周年記念式典及び祝賀会も同日に行われました。同校の改築は、平成20年8月から始まり、総工事費約17億7、600万円をかけ、2年8か月の年月を経て、全ての工事が無事完了しました。

新校舎は、県産材をふんだんに使用し、ぬくもりと優しさを感じさせ、牛津会館風の白壁など牛津の歴史を感じさせる造りとし、正門から中庭にかけては、赤れんが風の通りのイメージとなっています。そこで学ぶ生徒にとって楽しく、豊かな学校生活を送ることができると素晴らしい学校

になりました。

また、敷地内には、牛津の有志の方々より校訓を刻んだ石碑の寄贈や桜の木を植栽していただきました。

これからは、この新しい校舎で充実した中学校生活を過ごし、豊かな感性を育み、将来の夢に向かってはばたいほしいと願っています。



【問合せ】教育総務課

施設係 (小城庁舎)

担当 空閑・江里口

☎73-8806

小城市幼児教育・保育ネットワーク会研修会

2月17日(木)、ドゥイング三日月大ホールにおいて、第1回小城市幼児教育・保育ネットワーク会研修会を、市内の保育園・幼稚園・認可外保育施設の保育士・教諭・調理員等約170人の参加をいただき開催しました。

この研修会は、保育園・幼稚園・認可外保育施設や公立・私立の垣根を外して『小城市のこども』について考えていくために行ったものです。

講師に佐賀市立循環誘小学校の松本英将教諭をお招きし、「保護者や幼児の特性に合わせた家庭支援く接し方・話し方」というテーマで、保護者や子どもの願いを捉え、どういった関係づくりをしていくか、また、子どもを支援するにあたっての役割分担や環境づくりなど、先生ご自身の体験を交えてお話ししていただきました。

質疑応答では、「先生のご家庭でのことまでお話しした

だいたが、なぜ話してくださったのか」という問いに「学校で自分の体験話をしたところ、子どもたちが心を開いてくれた。こちらから心を開けば、きちんと応えてくれる」という回答などのやりとりがありました。参加者からも共感の声が多く寄せられ、家庭支援をする上で、保護者や子どもに寄り添っていくことの大切さを実感できた会でした。

今後は、市内の幼児教育・保育スタッフがスクラムを組み、様々な問題に対応した研修会を行っていききたいと思えます。



【問合せ】こども課

保育幼稚園係 (小城庁舎)

担当 楠田・辻

☎73-8821

●まちの話題

楽しかったね! 津の里子どもまつり

2月20日(日)、牛津保健福祉センターアイルで、牛津っ子支援ネットワークの皆さんの協力のもと第5回津の里子どもまつりが開催されました。

子どもたちによるステージ発表や町内の各団体が運営した体験コーナーがあり、一日中賑わいました。

駐車場では働く車の展示、消防はしご車などの試乗、自衛隊の制服試着などがあり、室内では、楽器体験コーナーやおにぎり作りコーナー、手作りゲームセンターやいろんな工作に子どもたちが挑戦して、地域の方々と笑顔で楽しく触れ合いました。

